

## 平成 21 年度 森林及び林業の動向(第 1 部 森林及び林業の動向)の構成と内容

## 【特集テーマを「林業の生産性向上に向けて」(仮題)とした趣旨】

人工林が資源として本格的な利用可能な時期を迎える中、木材生産や森林整備を担う林業の役割は重要。しかし、我が国の林業は、合理化の遅れ等により採算性が悪化し、長期的に停滞。効率的な森林整備や木材の安定供給に支障をきたすおそれ。

欧州諸国では、木材価格が我が国を下回る水準であるにもかかわらず林業の採算性を確保。木材が国際商品として各国間を流通することを踏まえれば、これらの国々との競争を念頭に置きつつ、我が国の林業の生産性の向上を図っていくことが必要な状況。

このため、平成21年度白書の特集では、高性能林業機械の導入や林内路網の整備など、我が国の林業の生産性向上に向けた取組を整理するとともに、これらの取組の前提となる施業集約化や人材育成、国民支援等の課題について明らかにする。

## 【各章の構成と内容】

|  |   |
|--|---|
| 林業の生産性向上に向けて(仮題)<br>1 立ち後れる我が国の林業<br>2 生産性向上に向けた取組<br>3 条件整備と国民の支援 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の林業の現状と生産性向上の必要性について記述。</li> <li>・林業の生産性向上に向けた取組の現状と課題について、造林・保育や素材生産ごとに記述。</li> <li>・低コスト化の取組の前提となる施業の集約化や人材の育成、木材の安定供給と利用拡大の重要性、国民の支援等について記述。</li> </ul>                                   |
| 地球温暖化対策と森林<br>1 低炭素社会の実現に向けた取組<br>2 京都議定書第一約束期間終了後の枠組み             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガスの排出の現状、森林吸収源対策や排出削減量等のクレジット化など、低炭素社会の実現に向けた取組について記述。</li> <li>・第一約束期間後の枠組み交渉の状況、我が国の中期目標について記述。</li> </ul>  |
| 多様で健全な森林の整備・保全<br>1 多様で健全な森林の整備<br>2 国土の保全等の推進<br>3 国際的な取組の推進      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の森林を巡る動向、間伐等の森林整備、生物多様性の保全、花粉発生源対策等について記述。また、国民参加による森林づくり活動の推進状況等について記述。</li> <li>・地域の安全・安心の確保を図る治山事業、森林病虫害・野生鳥獣被害対策の取組等について記述。</li> <li>・世界の森林資源の現状と持続可能な森林経営の推進に向けた国際貢献等について記述。</li> </ul> |
| 林業・山村の活性化<br>1 林業の現状と課題<br>2 山村の活性化                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業経営の現状、森林組合をはじめとする林業事業者の状況、林業労働力の確保、労働災害等について記述。</li> <li>・山村の現状、山村の活性化対策等について記述。</li> </ul>   |
| 林産物需給と木材産業<br>1 林産物需給の概況<br>2 木材産業の動向<br>3 木材の利用拡大に向けた取組           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材需給量・自給率・価格の動向について、国際的な資源問題も含めて記述。</li> <li>・住宅着工の動向、製材・合板・パルプ・チップの動向等について記述。</li> <li>・住宅・学校等の公共施設・木質バイオマスなど、木材の利用拡大の取組等について記述。</li> </ul>  |
| 国有林野事業の取組<br>1 「国民の森林」としての管理経営<br>2 国有林野事業における改革の取組                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公益的機能の発揮のための森林の保全・管理や、国民参加の森林づくりの推進など、国有林野が「国民の森林」としての役割を果たすための取組について記述。</li> <li>・国有林野事業における改革の取組状況について記述。</li> </ul>  |